

放課後子供教室・南部地区

鴻巣市・赤見台第二小放課後子ども教室				
活動場所	教室、特別教室、体育館	参加者数	登録児童数	51人
参加対象	全学年 (令和3年度は新型コロナウイルスの影響により1年生の登録を中止)		1日平均参加者数	42.1人
連携団体	なし			
プログラム例	学びっ子(国語・算数)教室、レク・ゲーム教室、スポーツ(ダンス・空手・護身術)教室、おりがみ教室、ものづくり教室、創作ぬり絵教室、すみ絵教室 等各教室			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後の児童の安心・安全な居場所づくりと様々な活動教室を通して、児童の自主性・協調性の育成を目指し、年間活動計画を作成し、計画に沿って活動を進めている。</p> <p>しかし、令和3年度は新型コロナウイルスの影響を受け、先の見通しが不確定な部分が多く、活動場数を減らすことになった。</p> <p>各活動教室においては、十分な準備と用意をし、児童一人一人に達成感と喜びの姿が見られていた。</p> <p>活動推進に当たっては、保護者・学校・推進員の厚い理解と支援を受けスムーズな運営が出来ている。</p> <p>また、保護者の皆様からは、感謝や励ましの言葉をいただく等、好評を得られている。</p>			



〔おりがみ教室〕



〔レク・ゲーム教室〕

鴻巣市基本情報			
運営委員会名	鴻巣市放課後子ども教室推進事業運営委員会		
構成役職 (合計25名)	実施校の校長代表者4名、実施校のPTA代表者1名、放課後子ども教室コーディネーター15名、放課後児童クラブ代表者2名、市関係課職員2名		
検討内容	放課後子ども教室の実態把握について 事業計画、安全管理、広報活動等について 事業実施後の検証及び評価について		
放課後子供教室 実施数	16教室 児童クラブとの連携情報 一体型 8教室 連携型 6教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 24箇所		
対象学校区	16校	平均開催日数	18日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	16人
登録児童数	707人	ボランティア数	138人
平均参加児童数	401人	1日当たりの平均スタッフ数	10人/教室

放課後子供教室・南部地区

上尾市・原市公民館放課後子供教室				
活動場所	上尾市立原市公民館	参加者数	登録児童数	22人
参加対象	原市小学校全学年		1日平均参加者数	20人
連携団体	公民館活動サークル、子どもの読書活動支援センター等			
プログラム例	避難訓練、読み聞かせ、工作、スポーツ、季節の行事等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後の子供の安心安全な活動場所を確保し、公民館を活動場所とする地域の大人たちの協力を得て、様々な学習や体験活動の取り組みを実施することにより、大人や子供同士の交流を育み、地域社会の中での生涯学習環境作りを推進するために開催している。</p> <p>原市公民館放課後子供教室では、火曜クラスと木曜クラスの2クラスを実施。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、スタッフが毎回受け入れ準備として、教室のテーブル、椅子、名札の消毒を実施し、スタッフや参加児童は検温・手洗い・マスクの着用を徹底している。</p> <p>プログラムについても、密を避け、人との距離が保てるようなプログラムを実施している。</p> <p>また、子どもの読書支援センター等から専門職員を講師に招くことで、社会教育施設や関係各課との連携も推進されている。</p>			



【みんなで遊ぼう！ディスクドッチ】



【ちぎり絵でクリスマスカード・年賀状を作ろう！】

上尾市基本情報			
運営委員会名	上尾市放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計16名)	放課後子供教室コーディネーター2名、放課後子供教室教育活動サポーター2名、地域の協力者2名、公民館長6名、生涯学習課職員4名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度事業の活動報告 ・安全管理 ・地域協力者の確保 ・翌年度事業の活動計画（予定） 		
放課後子供教室実施数	2教室（各2クラス） 児童クラブとの連携情報 一体型 2教室（各2クラス） 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 40箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	30日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	38人	ボランティア数	21人
平均参加児童数	27人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・南部地区

草加市・両新田小放課後子ども教室《クローバー》				
活動場所	マルチルーム・PTA会議室・校庭	参加者数	登録児童数	56人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	22人
連携団体	なし			
プログラム例	宿題・ボール遊び・昔遊び・お絵かき・ボードゲーム等			
特徴的な活動内容と成果	<p>開催に当たり、同感染症拡大防止の取組として、参加児童を学年ごとに2グループに分け開催している。</p> <p>また、児童サポーターには、活動日以外の日も体調チェックを依頼している。</p> <p>さらに、消毒については、部屋間移動時の手指消毒や教室終了後の机等の消毒を実施している。</p> <p>従来の教室と比較すると、参加児童をグループ分けしたことにより、参加人数が少なくなっているため、児童サポーターが一人ひとりに目が行き届きやすくなる等の良い側面もあった。</p>			



〔ボードゲーム時はパーティションを活用〕



〔距離を取りながら宿題中〕

草加市基本情報			
運営委員会名	草加市放課後子ども教室推進事業運営委員会		
構成役職 (合計14名)	放課後子ども教室代表者3名、放課後児童クラブ代表者2名、社会教育関係代表者1名、児童福祉関係代表者1名、草加市PTA連合会代表者1名、地域住民代表者3名、学校関係代表者1名、市職員2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定、安全管理方策の調査及び検討 ・広報活動方策の調査及び検討 ・ボランティア等地域協力者の人材確保方策の調査及び検討 ・事業実施後の検証・評価、放課後児童健全育成事業との連携の検討 ・その他事業の運営に関し必要な事項 		
放課後子供教室実施数	21教室(放課後児童クラブ箇所数 37箇所) 児童クラブとの連携情報 一体型 20教室・連携型 1教室 開催時期：10月から12月まで ※ 4月から9月まで、また、1月から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止している。		
対象学校区	21校	平均開催日数	8日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	15人
登録児童数	1,827人	ボランティア数	194人
平均参加児童数	606人	1日当たりの平均スタッフ数	7人/教室

放課後子供教室・南部地区

志木市・放課後志木っ子タイム				
活動場所	志木第三小学校 志木第四小学校	参加者数	登録児童数	466人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	50人
連携団体	社会福祉法人 タイケン福祉会			
プログラム例	季節にちなんだ製作、昔遊び、スポーツ体験			
特徴的な活動内容と成果	<p>「放課後志木っ子タイム」は、本来であればたくさんの子どもたちの笑顔あふれるプログラムが予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響でプログラム等を実施することができない。</p> <p>今年度は、受け入れに制限を行っている。</p> <p>参加する児童が限られている中で、季節を感じながら製作物や昔遊びなどを行った。</p> <p>室内では思うように遊べない分、外では身体を思う存分動かせるようにするなど、工夫して事業を実施した。</p> <p>事業実施においては、室内・外問わず、常にソーシャルディスタンスを保ち、消毒等の感染対策を徹底した。</p>			



〔個性豊かにクリスマスツリーの製作〕



〔年齢を超えて一緒に楽しむ時間〕

志木市基本情報			
運営委員会名	志木市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	行政関係者、学校関係者、学童保育クラブ関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、PTA関係者、スポーツ・レクリエーション団体関係者、コミュニティ団体関係者、ボランティア団体関係者、小学校区内の地域住民及び委員会が特に必要と認めた者		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室全校の運営平準化 ・活動プログラムの企画 ・安全管理・広報活動方策 ・地域住民との多世代交流の継続 ・協力者の人材確保 		
放課後子供教室実施数	8教室 児童クラブとの連携情報 一体型 8教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 8箇所		
対象学校区	8校	平均開催日数	240日 (平日のみ)
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	8人
登録児童数	2,436人	ボランティア数	398人 (宗岡地区ちいパト隊)
平均参加児童数	574人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/ 1教室

放課後子供教室・南部地区

和光市・わこうっこクラブ（子ども教室）教室				
活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	2418人
参加対象	学校区に在所する全児童		1日平均参加者数	17.5人
連携団体	市民活動団体、近隣農園、地区社会福祉協議会			
プログラム例	ボール遊び、ダンス、理科実験教室、工作教室、英語で遊ぶ 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>「わこうっこクラブ」は、小学校の施設等を活用し、教育活動サポーターの見守りのもと、子どもたちが放課後を安全・安心に過ごす居場所である。イベント型体験教室として、月2回程度、「わこうっこクラブ」では、スポーツや文化、芸術にふれる「子ども教室」も実施している。今年度より、指定管理者制度を導入し、市内全9小学校で、「わこうっこクラブ」は1510回、「子ども教室」は71回（12月末時点）開催している。学童クラブ在所児童との交流を図り、放課後児童の居場所の一体型・一体的運営の充実を図ることをねらいとしていたが、社会情勢の変化により、利用や交流を遠慮していただくを得ないこともあった。</p> <p>「わこうっこクラブ」は、登録さえすれば、いつでも、誰でも利用できる居場所であり、保護者からは、開室日数の増加について高い評価をいただいている。また、異学年児童との交流、イベント型体験教室のプログラムの充実、地域の方々との交流等についても好評である。</p>			



〔わくわくコンサート〕



〔テニピンをやってみよう〕

和光市基本情報			
運営委員会名	和光市子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計18名)	各小学校実行委員9名、和光市小学校校長会代表1名、和光市小学校教頭会代表1名、学童クラブ代表3名、コーディネーター代表2名、学校教育課長、生涯学習課長		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童の居場所づくりに係る全体計画について ・わこうっこクラブの実態把握と運営改善について ・わこうっこクラブの運営にかかわる方策について 		
放課後子供教室実施数	9教室 児童クラブとの連携情報 一体型 7教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 15箇所		
対象学校区	9校	平均開催日数	231日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	9人
登録児童数	2418人	ボランティア数	186人
平均参加児童数	157.5人	1日当たりの平均スタッフ数	4.0人/教室

放課後子供教室・南部地区

新座市・新堀ココフレンド				
活動場所	教室・校庭・体育館	参加者数	登録児童数	185人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	17人
連携団体	放課後児童保育室・民間教育事業者・公民館サークル			
プログラム例	宿題・学習プリント、工作・手芸、遊び など			
特徴的な活動内容と成果	<p>新堀ココフレンドは開設9年目になり、子どもたちにも保護者にも浸透し、放課後の居場所として定着してきた。</p> <p>1日の活動の前半は、宿題・学習プリントに良く取り組んでいる。スタッフは、参加児童が、正確さ、丁寧さ、学習姿勢などの基本的な学習習慣を身につけられるように見守りに努めた。特に今年度は、コロナ禍で参加者が少ない日が続いていたので、スタッフが今まで以上に子どもたちをよく見守ることができた。後半は、工作・折り紙・読み聞かせ・オセロ・トランプなどをして室内で過ごす子や、校庭でサッカー・鬼ごっこ・遊具を使った遊びをする子、体育館でボールを使った運動を中心に楽しく活動する子がいる。</p> <p>これまではスタッフが知恵を出し合い、さまざまなプログラムを提供してきたが、昨年度からは、コロナ禍でイベントなどの異学年で大人数での活動は、制限がありできなかった。しかしながら一人ひとりの子に寄り添い、子どもたちとスタッフとの関係は深められた。</p> <p>児童・保護者に行ったアンケートからは、「ココフレンドに参加して宿題もできるし、友達とも遊べるので楽しい。」「早くコロナが終息し、以前のように気軽に通わせることができるようになってほしいと思っています。」などの声も届いている。</p>			



〔折り紙を楽しむ〕



〔体育館での活動〕

新座市基本情報			
運営委員会名	新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会		
構成役職 (合計21名)	教育長、小学校長、PTA代表者、町内会連合会会長、民生・児童委員協議会理事、社会教育委員、放課後児童保育室支援員代表者、実行委員会委員長、コーディネーター代表者、教育総務部長、学校教育部長、子ども支援課長、保育課長、教育支援課長、社会福祉協議会副局長兼総務課長、生涯学習スポーツ課長		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の運営状況について ・アンケートの実施及び結果について ・事業に関する要綱、マニュアル等の改正について 		
放課後子供教室実施数	17教室 児童クラブとの連携情報 一体型 17教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 17箇所		
対象学校区	17校	平均開催日数	219日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	50人
登録児童数	3293人	ボランティア数	229人
平均参加児童数	282人	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室

放課後子供教室・南部地区

桶川市・桶川東小学校放課後子供教室				
活動場所	桶川東小学校内	参加者数	登録児童数	26人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	10人
連携団体	-			
プログラム例	学習の時間（宿題、自主学習）、ふれあいの時間（プラバン・外遊び、折り紙、ぬり絵、昔遊び、ヒアリハットの学習など）			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、全学年の子供を対象として、放課後、小学校の一部をお借りして、子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）をつくることを目的とし、実施しています。子供たちが地域社会の中で心豊かに健やかに育まれるよう、地域の方々の参画を得て、交流活動や様々な体験・学習活動などを進めています。</p> <p>学習の時間では、各自すぐに宿題に取り掛かり、終わった後もぬり絵と折り紙等、静かに行っている。ふれあいの時間では、スタッフと和やかに活動し、学年を越えて仲良く活動している。</p> <p>児童及びスタッフは当日の朝・入室時の検温、マスクの着用、常時換気、手指の消毒等、適切な感染防止対策を講じたうえで、3密を避けた活動を考慮し実施している。</p>			



〔コップとんぼ〕



〔紙皿ヨーヨー〕

桶川市基本情報			
運営委員会名	桶川市放課後子供教室事業運営委員会		
構成役職 (合計20名)	学校長（1名）、各小学校PTA役員(7名)、小学校区を活動圏域とする地域の方（1名）、各小学校コーディネーター(7名)、社会教育委員(1名)、行政関係者(3名)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業実施後の検証及び評価等 		
放課後子供教室 実施数	7教室 児童クラブとの連携情報 一体型 7教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 7箇所		
対象学校区	7校	平均開催日数	60日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	15人
登録児童数	222人	ボランティア数	約180人
平均参加児童数	105人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・南部地区

北本市・中丸東小放課後子ども教室				
活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	25人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	15人
連携団体	地域サークル活動団体			
プログラム例	・学びの時間（宿題、自主学習、プリント学習）・ふれあいの時間（読書、折紙、将棋、読み聞かせ、図工、Tボール・編み物等）			
特徴的な活動内容と成果	<p>保護者の皆様から頂く貴重な意見をいかし、子どもたちが地域社会の中でより一層心豊かに育まれる「安心、安全、楽しい放課後」を目指している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ものづくり」の取組：1学期は、手形アートうちわを作成（写真参照）した。2学期は、切り絵の掲示物（コスモス畑）/指編マフラー/年賀状作成を行った。 ・新型コロナ感染症対策：子ども教室の活動に必要な用具（のり、はさみ、折紙、色鉛筆、ノート等）を個別のファイルで自己管理するようにした。 ・活動内容を毎月の教室だよりで保護者に伝え、協力を頂いている。 ・成果：子どもたちは、異学年の児童やスタッフとの中で信頼関係を築き、子ども教室は大切な居場所になっている。 			



〔学びの時間の様子〕



〔手形アートうちわ作成〕

北本市基本情報			
運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計17名)	放課後子ども教室代表7名、放課後児童クラブ関係者1名、学校長代表2名、PTA代表2名、コミュニティ協議会代表2名、民生委員・児童委員1名、学校教育担当課長、子育て支援課長		
検討内容	実業計画の策定 ・安全管理方策 ・広報活動方策 ・次年度の活動計画等		
放課後いた供教室 実施数	7教室 児童クラブとの連携情報 一体型 7教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 11箇所		
対象学校区	7校	平均開催日数	100日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	18人
登録児童数	221人	ボランティア数	165人
平均参加児童数	100人	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室

放課後子供教室・西部地区

飯能市・おくむさし わくわくルーム				
活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	33人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	23人
連携団体	名栗げんきプラザ、ソニー・ミュージックエンタテインメント、駿河台大学			
プログラム例	ミュージカルレッスン、コーディネーショントレーニング、絵本ができるまで、集団遊び等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後に安心して安全な居場所を設け、地域の方々の参画を得ながら子どもたちにさなざまな学習、体験及び交流活動の機会を提供している。</p> <p>学校が山間地に位置しているという地理的要因から、下校後に同世代の友だちと過ごすことが難しい子どもたちもいる。このため、学び・運動・交流という3つの活動を基本に、民間の教育機関や大学、地域住民の皆さんのご支援をいただきながら、子どもたちがリラックスして楽しく参加できる内容を実施している。</p> <p>ミュージカルレッスンについては、ソニー・ミュージックエンタテインメントに指導者を依頼し、年間を通して10回程度の継続的なプログラムとして実施している。</p> <p>保護者からは、様々な体験ができることや興味を持って意欲的に参加している子どもの様子に、好意的な意見をいただいている。</p>			



〔風船で遊ぼう〕



〔ミュージカルレッスン〕

飯能市基本情報			
運営委員会名	奥武蔵小学校放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計9名)	校長1名、児童クラブ1名、PTA1名 社会教育関係者1名(内兼務1名)、 教室コーディネーター1名、 教室活動指導員3名 生涯学習課職員2名(内兼務1名)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・プログラムの企画 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 20箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	30日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	33人	ボランティア数	5人
平均参加児童数	23人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・西部地区

大岡小 ほのぼのキッズルーム・おおおか				
活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	11人
参加対象	1～5年生		1日平均参加者数	11人
連携団体	外部講師（市に登録された方、グループ）			
プログラム例	宿題、工作、室内ゲーム、運動遊び、自然体験、農業体験 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>季節感や年中行事など生活に密着した活動プログラムを計画し、楽しく行っています。</p> <p>運動あそびは、体育館や校庭で思いっきり走ったりゲームをしています。「タヤけさんぽ」という自然体験活動として、近くの活動センター、農林公園、ぼたん公園などに歩いて行き、時間まで遊んで過ごします。親御さんにはあらかじめお便りで知らせてありますので時間には現地に迎えに来ていただいています。農業体験としてじゃがいも、さつまいも、だいこんなど季節の野菜を育てています。収穫する楽しさと味わうよこびを体験しています。</p> <p>七夕かざり、ミニクリスマスツリー、卓上門松などの制作を通して手作りの楽しさを味わっています。</p> <p>季節や自然を感じる活動を通して豊かな心と情操を育てていきたいと考えています。</p>			



〔だいこんぬき〕



〔卓上門松完成〕

東松山市基本情報			
運営委員会名	東松山市放課後子ども教室推進事業連絡会議		
構成役職 (合計39名)	放課後子ども教室コーディネーター11名、小学校長11名、PTA会長11名、放課後児童クラブ事務局長、教育総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、保育課長、子育て支援課長		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の検証について ・放課後子ども教室の活動内容について ・次年度の実施内容について 		
放課後子供教室実施数	11教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 17箇所		
対象学校区	11校	平均開催日数	28日 ※新型コロナウイルス感染症により休室期間あり
主な対象学年	1～3学年 (1校のみ1～5年生)	コーディネーター数	11人
登録児童数	252人	ボランティア数	68人
平均参加児童数	132人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・西部地区

狭山市・放課後みなみつ子				
活動場所	狭山市立南小学校	参加者数	登録児童数	54人
参加対象	1年生～3年生		1日平均参加者数	37人
連携団体				
プログラム例	宿題、昔遊び、ボール遊び、からくり教室、茶道教室 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>狭山市地域子ども教室は、子供たちに安心・安全な活動拠点を提供し、多様な活動や交流の機会を与えることにより、地域社会の中で子どもたちが健やかに育つ環境を醸成するとともに地域の教育力の向上に資することを目的としている。</p> <p>年度当初の放課後教室開催時には、校長先生にも参加していただくことが出来、学校ともとてもいい関係である。</p> <p>毎回、約束の唱和と教室の代表による「からくり教室」から始まり、体育館では、和太鼓体験・フラフープ・大縄跳び・縄跳び・ステッピー・バドミントン・宿題・折り紙などを行い、校庭では、サッカー・ソフトボール・バスケットボール・竹馬・鬼ごっこなどをして遊んでいる。</p> <p>今年度はコロナの関係で、開催出来なかったが、本校には茶室があるため、茶道教室も開催している。</p>			



〔和太鼓体験〕



〔火起こし体験〕

狭山市基本情報			
運営委員会名	狭山市地域子ども教室連絡会 T i e に委託		
構成役職 (合計12名)	各教室の代表が理事となり、理事会を組織 狭山市地域子ども教室連絡会 T i e を運営している その中から代表理事1名・副代表理事2名、 相談役2名、事務員3名、監事2名が運営委員会を組織 コーディネーター2名、社会教育課職員		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ高齢化による人材確保について ・役員の交代・教室同士の情報交換 ・スタッフへの研修・運営体制の充実 ・地域への情報発信 (コーディネーターの育成) 		
放課後子供教室 実施数	11教室 (体験教室2、放課後9) 児童クラブとの連携情報 一体型 9教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 15箇所		
対象学校区	13校	平均開催日数	2日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	679人	ボランティア数	174人
平均参加児童数	375人	1日当たりの平均スタッフ数	7人/教室

放課後子供教室・西部地区

わく☆どき！ふじさわひがし				
活動場所	藤沢東小学校第2理科室	参加者数	登録児童数	20人
参加対象	市内在住小学生		1日平均参加者数	16人
連携団体	NPO法人あそびあ〜とこども劇場入間、入間市華道連盟 他			
プログラム例	かみコップであそぼう			
特徴的な活動内容と成果	年間を通して、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、多岐にわたる体験活動を提供することができた。参加者の保護者からは、「普段家庭には体験できないことにチャレンジできる」「同学年ではない子たちとも一緒に体験でき、遊びの幅が広がった」などの声があった。			



〔かみコップのお城〕



〔かみコップタワー〕

入間市 基本情報			
運営委員会名	入間市放課後子ども教室事業運営協議会		
構成役職 (合計15名)	<ul style="list-style-type: none"> ・入間市立小学校の児童の保護者代表2名 ・地域住民により組織する団体の代表者3名 ・学校教育及び社会教育の関係者4名 ・市内在住者から公募で3名 ・知識経験者3名 ・事務局：青少年課 		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定に関すること ・安全管理方策に関すること ・広報活動方策に関すること ・地域協力者の人材確保方策に関すること ・実施プログラムの企画に関すること 等 		
放課後子供教室 実施数	32教室 児童クラブとの連携情報 一体型 29教室 連携型 3教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 16箇所		
対象学校区	16校	平均開催日数	39日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	8人
登録児童数	1777人	ボランティア数	69人
平均参加児童数	593人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・西部地区

富士見市・つるせ台ひろば				
活動場所	校庭、体育館	参加者数	登録児童数	610人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	対面のみ 79人 オンライン含む 154人
連携団体	PTA、まちづくり協議会、地区社協グラウンドゴルフサークル、卓球倶楽部（交流センター登録団体）			
プログラム例	グラウンドゴルフ大会、紙飛行機大会、七夕飾りづくり 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>つるせ台小学校が、つるせ西小学校と上沢小学校の統合により設立したのが平成18年。平成20年に新校舎が落成し、その翌年に生涯学習課からの声掛けで地域子ども教室の設立に向けて学校やPTA、鶴瀬西交流センター、学校で活動しているスポーツサークルと何度も企画会議を開き、また体験教室を開催して正式に「つるせ台ひろば」がスタートしたのが、平成22年9月4日だった。それ以来学校やPTA、地域のスポーツサークルの協力のもとに色々な昔遊びや工作、各種スポーツを通して、児童の健全な遊び場作りをしてきた。またここにきてつるせ台まちづくり協議会に子供部会ができ、昨年より11月のつるせ台小秋まつりはつるせ台ひろば、まちづくり協議会、PTAの三者共催事業で行なっている。</p> <p>コロナ禍の中、今年は新しい試みで、Youtubeを使っの切り紙工作と消しゴムはんこ作りの動画配信を行った。参加児童も多く、大変好評だった。</p>			



〔動画を見ながら切り紙工作〕



〔みんなでグラウンドゴルフ大会〕

富士見市基本情報			
運営委員会名	富士見市地域子ども教室連絡協議会		
構成役職 (合計40名)	各教室企画運営委員26名、生涯学習課職員3名、公民館職員4名、交流センター職員1名、児童館職員3名、放課後児童クラブ職員1名、校長会2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室間の情報共有 ・共通課題とその解決策について ・新型コロナウイルス感染症対策について 		
放課後子供教室実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 6教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 25箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	対面のみ 2.8日 オンライン含む 3.2日
主な対象学年	全学年 低学年	コーディネーター数	13人
登録児童数	4,652人	ボランティア数	60人
平均参加児童数	対面のみ 476人 オンライン含む 552人	1日当たりの平均スタッフ数	対面のみ 18人/教室 オンライン含む 15人/教室

放課後子供教室・西部地区

鶴ヶ島市・放課後のびのび算数教室				
活動場所	市内全小学校（8校）	参加者数	登録児童数	363人
参加対象	1年生～6年生		1日平均参加者数	9人
連携団体				
プログラム例	算数の基礎学習			
特徴的な活動内容と成果	<p>年度当初に復習プリントを行い、個々のつまづきのポイントを確認した上でプリントやタブレットによる学習を始めている。また、授業の進度に合わせるために、担任と学力向上支援員との間で連絡ノートを活用している。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開始が遅れたが、子供たちからは、「わかりやすく教えてもらって算数が好きになった」「また参加したい」などの感想があった。スタッフからは、「子供たちの成長を見ることが楽しみ」「生きがいを感じながら地域に貢献できる」などの声が寄せられている。</p> <p>課題としては、参加しやすい環境づくりとスタッフの確保が挙げられる。今後は、新しい生活様式を踏まえた安全への配慮に努めるとともに、より効果的な指導を行えるよう、プリント作りを検討していきたいと考えている。</p>			



【自主学習】



【指導員からの指導を受けて】

鶴ヶ島市基本情報			
運営委員会名	鶴ヶ島市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	放課後子ども教室代表3名、放課後児童クラブ関係者1名、校長代表1名、PTA代表1名、子ども・地域に関する活動関係者4名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の検証、評価 ・新・放課後子ども総合プランの推進 ・人材確保、広報活動などの方策 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室 実施数	13教室 児童クラブとの連携情報 一体型 7教室 連携型 6教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 15箇所		
対象学校区	8校	平均開催日数	81日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	13人
登録児童数	438人	ボランティア数	55人
平均参加児童数	91人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・西部地区

ふじみ野市・放課後子ども教室				
活動場所	YouTube	参加者数	登録児童数	258人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	— 人
連携団体	文京学院大学			
プログラム例	クイズ、歴史の紹介、理科の実験、楽器の紹介 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>今年度は令和2年度同様に新型コロナウイルス感染症の影響により、例年どおりの教室の活動は中止とした。</p> <p>例年であれば、各小学校の活動教室にて宿題、工作、外遊び等行っている。</p> <p>今年度は上記のとおり教室での対面の活動を中止としたため、家でも見ることができるYouTubeに動画を配信し、登録児童だけでなく全児童の放課後等のおうち時間に活用してもらえるようにした。</p> <p>動画の作成は、市内にある文京学院大学と協力し、大学の学生が授業で作成した動画を使用して放課後子ども教室の動画を作成した。</p> <p>動画は、限定公開（動画URLを知らないと視聴不可）にも関わらず700回以上再生され好評である。</p>			

ふじみ野市基本情報			
運営委員会名	ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計17名)	小学校校長1名、PTA連合会1名、放課後児童クラブ職員2名、自治組織連合会2名、民生委員1名、放課後子ども教室指導員1名、大学教授1名、子育て支援課長1名、学校教育課長1名、社会教育課職員6名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運営のあり方 ・人材確保の調査及び検討 ・運営結果の検証及び評価 等 		
放課後子供教室 実施数	13教室 児童クラブとの連携情報 一体型 13教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 13箇所		
対象学校区	13校	平均開催日数	0日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	14人
登録児童数	258人	ボランティア数	48人
平均参加児童数	20人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室



「平安時代の恋と手紙」の動画



「珍しい給食を紹介」の動画

放課後子供教室・西部地区

毛呂山町・放課後学習教室				
活動場所	余裕教室	参加者数	登録児童数	76人
参加対象	小学4年生		1日平均参加者数	68人
連携団体	なし			
プログラム例	宿題、百ます計算、形成プリント 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、学力の向上という視点の他に、児童の「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」を提供することを目的にしている。</p> <p>対象は、小学4年生で、算数と国語の2科目を学習し、百ます計算や形成プリント等を毎回実施し、基礎固めを行っている。</p> <p>児童を対象としたアンケートでは、「学習サポーターが優しく分かりやすく教えてくれたので、勉強がよく分かりました。」「勉強も楽しくて人生が楽しいです。」等の意見があり、好評を得ている。</p>			

毛呂山町基本情報			
運営委員会名	毛呂山町放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計14名)	社会教育委員2名、小学校教頭4名、PTA会長1名、学童保育の会1名、各教室コーディネーター4名、子ども課1名、教育委員会1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動予定 ・事業評価 ・今年度の反省と次年度の活動予定 		
放課後子供教室実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 一体型 3教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 4箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	23日
主な対象学年	4学年	コーディネーター数	4人
登録児童数	76人	ボランティア数	16人
平均参加児童数	68人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室



〔百ます計算〕



〔グループに分かれて音読の学習〕

放課後子供教室・西部地区

嵐山町・放課後子供教室スイミー				
活動場所	ふれあい交流センター	参加者数	登録児童数	51人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	22人
連携団体	大妻嵐山中学校・高等学校、嵐山町青少年相談員コスモスターズ			
プログラム例	通常活動（自由遊び・よみきかせ） 特別活動（サッカー教室・和紙体験・体操教室・正月飾り作り）			
特徴的な活動内容と成果	<p>嵐山町の放課後子供教室「スイミー」では、平日放課後の通常活動と土曜日や夏休み期間を活用した特別活動を実施している。町内すべての小学校・全学年が対象となっているため、他校の児童や異なる学年との交流を図ることができる。</p> <p>今年度は、総合グラウンドや体育館等の屋外や体育施設を会場として積極的に活用し、のびのびと活動できるよう努めた。</p> <p>特別活動では、地域の方々や高校生ボランティアの協力を得て、さまざまな体験プログラムを計画し、活動を行っている。</p>			

嵐山町基本情報			
運営委員会名	嵐山町交流センター運営協議会		
構成役職 (合計10名)	地域団体関係者1名 ボランティア団体関係者1名 学校教育の関係者1名 社会教育の関係者等7名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運営状況、活動内容について ・実態把握について 		
放課後子供教室実施数	1教室 児童クラブとの連携状況 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 4箇所		
対象学校区	3校	平均開催日数	30日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	51人	ボランティア数	5人
平均参加児童数	22人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室



〔和紙体験**作品**〕



〔なわとび教室〕

放課後子供教室・西部地区

小川町・やわたんフレンズ				
活動場所	専用教室・音楽室・ 体育館・校庭	参加者数	登録児童数	27人
参加対象	全学年		1日平均 参加者数	26人
連携団体	おり紙協会・琴サークル 等			
プログラム例	宿題、外遊び、ピアノコンサート、おり紙教室、人権DVD視聴等			
特徴的な活動 内容と成果	<p>本教室は、令和3年10月4日に開設されたばかりのフレッシュな教室です。教室開設に向け、半年間、10名のスタッフが熱心に行い、準備をしてきました。現在、児童とスタッフが、笑顔いっぱい、元気いっぱいに活動しています。</p> <p>通常の活動では、前半、宿題や自主学習等の学校から出された課題に取り組みます。早く終わった児童には、「やわたんフレンズ」で用意した学習プリントを渡し、スタッフが丸付けをします。</p> <p>後半は、元気にドッジボール、ティーボール、竹馬、長縄跳び、バドミントン等を行います。雨天時は、体育館で活動を行います。</p> <p>「特別の活動」として、講師をお招きして、ピアノコンサートとおり紙教室を実施しました。</p> <p>保護者からも、「日頃、なかなか体験できない機会を設けていただき、ありがとうございます」とのお言葉をいただいております。</p> <p>学童クラブ所属の児童も5名おり、毎回、教室終了後、スタッフが学童クラブまで送り届けています。今後、さらに学童クラブと連携し、共通で取り組めるプログラムを研究していきたいと考えています。</p>			



〔ピアノコンサート〕



〔おり紙教室〕

小川町基本情報			
運営委員会名	小川町放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計22名)	区長会1名、老人会1名、PTA3名、民生委員1名、学童クラブ1名、校長会5名、社会教育委員1名、公民館審議会委員1名、学識経験者2名、行政1名、コーディネーター5名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の検証と評価 ・各教室の視察 ・諸課題への指導、助言等 		
放課後子供教室 実施数	5教室 児童クラブとの連携情報 一体型 3教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 5箇所		
対象学校区	5校	平均開催日数	29日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	5人
登録児童数	174人	ボランティア数	15人
平均参加児童数	165人	1日当たりの 平均スタッフ数	12人/ 教室

放課後子供教室・西部地区

川島町・中山っ子くらぶ				
活動場所	公民館、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	25人
参加対象	中山っ子くらぶに登録している児童		1日平均参加者数	23人
連携団体	各種公民館団体、公民館、小学校、見学施設			
プログラム例	施設見学、グラウンドゴルフ、工作 等			
特徴的な活動内容と成果	元公民館長や、地域で精力的に活動されている方が、放課後子供教室のコーディネーターとして活躍しており、地域や公民館で活動する様々な団体と連携を取りながら活動をしている。今年度は、コロナ禍での活動であったことから、例年より実施回数を減らし、事業内容についても、感染症予防の第一としたものとした。その様な状況下であっても、子供たちが日常生活では経験することが難しい体験や、地域の方々との交流を重視している。その結果、放課後子供教室の活動外でも児童やスタッフ、地域住民が顔を合わせると自主的に挨拶をするようになるなど、地域全体で子供たちを育てていくという土壤が生まれている。			



〔新年歩け走ろう大会に参加〕



〔みんなで川の博物館に行きました〕

川島町基本情報			
運営委員会名	川島町地域子ども教室実行委員会		
構成役職 (合計14名)	川島町教育委員会教育長、放課後子供教室コーディネーター6名、川島町公民館連絡協議会会長、副会長、社会教育指導員、生涯学習課長、生涯学習課職員		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の運営について ・放課後子供教室、放課後児童クラブの連携について 		
放課後子供教室実施数	5教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 4教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 4箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	34日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	89人	ボランティア数	102人
平均参加児童数	80人	1日当たりの平均スタッフ数	10人/教室

放課後子供教室・西部地区

ときがわ町・萩ヶ丘いきいき教室				
活動場所	萩ヶ丘小学校教室、校庭	参加者数	登録児童数	23人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	23人
連携団体	萩ヶ丘小学校			
プログラム例	宿題のサポート、校内での遊び			
特徴的な活動内容と成果	給食のある日の放課後における見守りとして、宿題のサポートを始め教室や校庭での遊びを行っている。 昨年度に引き続き新型コロナウイルス対策のもと活動を行った。12月にはクリスマスモチーフを作る折り紙遊びが好評だった。			



〔教室での宿題のサポート〕



〔教室での遊び〕

ときがわ町基本情報			
運営委員会名	萩ヶ丘いきいき教室打ち合わせ会		
構成役職 (合計10名)	小学校長、小学校教頭、萩ヶ丘いきいき教室指導員（6名のうち1名放課後児童クラブ指導員兼務）、生涯学習課長、生涯学習課担当者		
検討内容	・萩ヶ丘いきいき教室の活動について		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 3箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	190日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	23人	ボランティア数	5人
平均参加児童数	23人	1日当たりの平均スタッフ数	2人/教室

放課後子供教室・北部地区

熊谷市・成田小放課後子供教室				
活動場所	教室、体育館、校庭等	参加者数	登録児童数	428人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	42人
連携団体	おやじの会、PTA、地域関係者等			
プログラム例	ハロウィンキャンプ、陶芸教室、サッカー教室、ドッジボール教室等			
特徴的な活動内容と成果	<p>【ハロウィンキャンプ】 ○仮装した子どもたちが少人数のグループに分かれ、通学路にある「子ども110番の家」を回って「トリックオアトリート」を合言葉にお菓子をもらう仮装行列を行った。 ○各班に保護者や教員を配置した。交通量の多い場所や横断歩道に教員やおやじの会の役員を配置し、安全に配慮した。 ○「子ども110番の家」を回ることで、子供が地域と関わりをもつとともに防災・防犯の意識を高めた。</p> <p>【陶芸教室】 ○土から型にはめて陶芸体験を行った。基本の型を参考に、思い思いの形に成形したり、模様を描いたり、色土を添付したりして陶芸体験を行った。 ○手軽に陶芸体験ができることに子供たちが興味関心を強くもった。熱心に作品と向かいあい、もっと時間をかけてやってみたいと感想を述べた児童が多かった。</p>			

熊谷市基本情報			
運営委員会名	熊谷市放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計16名)	熊谷市PTA連合会1名、熊谷市子ども会育成連絡協議会1名、熊谷市青少年健全育成市民会議1名、熊谷市社会福祉協議会1名、熊谷市自治会連合会1名、熊谷青年会議所1名、熊谷市校長会2名、熊谷市公民館連合会1名、(公財)熊谷市体育協会1名、熊谷市文化連合1名、子どもセンターボランティア代表者1名、熊谷市社会教育委員会議1名、小学校区代表1名、社会教育課長1名、社会教育課指導主事1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の実態把握について ・放課後子供教室ボランティア研修会の内容について 		
放課後子供教室実施数	29教室 児童クラブとの連携情報 一体型 23教室 連携型 5教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 51箇所		
対象学校区	29校	平均開催日数	4日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	29人
登録児童数	8940人	ボランティア数	903人
平均参加児童数	1519人	1日当たりの平均スタッフ数	8人/教室



〔ハロウィンキャンプ〕



〔陶芸教室〕

放課後子供教室・北部地区

本庄市・学ぼう舎（児玉公民館）				
活動場所	公民館	参加者数	登録児童数	15人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	14人
連携団体	公民館利用団体、公民館事業担当講師、社会福祉協議会 等			
プログラム例	宿題、工作、児童センター・文化施設見学、福祉体験、英語の歌 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、児童に安全な居場所を設け、自主学習、体験学習又は文化活動により児童の自主性及び創造性を育む事を目的としている。</p> <p>地域の方が支援者となり、様々な活動内容を企画し実施している。令和3年度は、「牛乳パックで貯金箱づくり」「絵はがき作成」「児童センター見学」「塙保己一記念館見学」「高齢者福祉体験」「絵本の読み聞かせ・英語の歌」などを実施した。近隣の施設や市内の団体と連携し、児童にとって充実した活動を実施することができた。また、教室からの通信を作成し、保護者への連絡や情報共有を図った。</p> <p>保護者からは、宿題の分からない所を教えてもらえること、勉強以外にも沢山の活動ができること、学校以外でのお友達や地域の方との関わりが持てること、活動についての会話で親子のコミュニケーションが増えること、子どもが毎回の参加を楽しみにしていることなど、好評をいただいている。</p>			



〔福祉体験〕



〔英語の歌〕

本庄市基本情報			
運営委員会名	本庄市小学生学習支援事業運営委員会		
構成役職 (合計 8名)	各教室コーディネーター6名、生涯学習課職員2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業内容の報告 ・課題等の検討 ・安全管理の共有 ・次年度の活動予定の検討 		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 22箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	13日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	78人	ボランティア数	27人
平均参加児童数	71人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・北部地区

深谷市・大寄小平日放課後子ども教室				
活動場所	教室、体育館	参加者数	登録児童数	16人
参加対象	3年生～6年生		1日平均参加者数	15人
連携団体	彩書会（公民館）			
プログラム例	漢字検定にチャレンジ、書初め教室			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、平日放課後の子供たちの安心・安全な居場所づくりと様々な体験や幅広い人々との交流を通して、自主性・社会性のより一層の向上を目指している。</p> <p>放課後児童クラブとは、児童の安全確保について連携を図っており、終了後スタッフが児童クラブまで引き渡しており、引渡し方法等については放課後児童クラブのスタッフとの事前打ち合わせ会にて決めている。</p> <p>保護者からは、放課後の時間をとても有意義に過ごせた、普段できないことを体験できた、地域の人や他の大人との交流もでき来年も参加したいなどの声があった。</p>			



〔漢字検定にチャレンジ〕



〔書初め教室〕

深谷市基本情報			
運営委員会名	大寄小平日放課後子ども教室打合せ		
構成役職 (合計 6名)	大寄小平日放課後子ども教室マネージャー 1名、放課後児童クラブ職員 2名、校長 1名、生涯学習スポーツ振興課職員 3名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の実施方法 ・プログラムの実施内容 ・安全管理方策の検討 		
放課後子供教室 実施数	3教室 児童クラブとの連携情報 一体型 3教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 32箇所		
対象学校区	3校	平均開催日数	10日
主な対象学年	3～6学年	コーディネーター数	3人
登録児童数	64人	ボランティア数	13人
平均参加児童数	60人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・北部地区

横瀬町・放課後等子ども教室				
活動場所	図書室・体育館・校庭	参加者数	登録児童数	45人
参加対象	1・2年		1日平均参加者数	40人
連携団体	学校応援団			
プログラム例	宿題、ボール遊び、シャボン玉教室、なわとび教室、絵本作り			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は小学校の図書室を主な活動場所とし、放課後や長期休業中における児童の安全で安心な場所を確保するとともに、様々な体験活動を通して豊かな人間性を育てることを目的としている。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で多くの制限のある中、三密や手洗い消毒、検温などを徹底しながら、創意工夫し活動している。</p> <p>今年度は、シャボン玉教室や絵本作りを実施したが、子ども達はいつも生き生きと取り組み、特に絵本作りはオリジナルの作品を作り上げ、皆満足そうであった。また、放課後子ども教室の「おたより」の欄に、新たにクイズコーナーを設けた。</p>			



〔シャボン玉教室〕



〔絵本作り〕

横瀬町基本情報			
運営委員会名	放課後等子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	横瀬小学校長、教頭、放課後子ども教室指導員6名、横瀬町教育委員会担当者2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等子ども教室の活動内容について（コロナ禍での遊びと学習） 運営及び活動内容の成果と課題について 		
放課後子供教室実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 1箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	237日
主な対象学年	1・2学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	45人	ボランティア数	70人
平均参加児童数	40人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・北部地区

長瀬町・はつらつルーム（長瀬第一小）				
活動場所	教室、体育館	参加者数	登録児童数	26人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数	22人
連携団体	町民団体			
プログラム例	宿題、読書、工作、企画行事（軽スポーツ体験）			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後の子供たちの安全な居場所を確保するとともに、多様な学習・体験活動を通して豊かな人間性の育成を目指している。企画行事は、小学校の協力をいただきながら、体育館を利用してドッチビー体験を行った。町職員の指導のもと、遊びを通してルールや技能を学び、異学年の交流を深めた。</p> <p>教育活動推進員は、児童の健康状態を把握しつつ、宿題や個別の学習活動を中心に指導にあたった。また、通常の活動に加え、身近にある材料を使用して工作に取り組む中で、一人ひとりの豊かな想像力を育む機会が増えた。</p>			



〔宿題・学習の個別支援〕



〔ドッチビー体験〕

長瀬町基本情報			
運営委員会名	放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計16名)	放課後子供教室代表2名、児童クラブ代表2名、小学校長2名、PTA代表2名、児童クラブ室担当、健康福祉課長、教育長、教育次長、指導主事、事務局（教育総務担当主幹、教育総務担当主査、学校教育指導員）		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の基本構想 ・活動内容について 		
放課後子供教室実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 3箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	70日
主な対象学年	1～3学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	37人	ボランティア数	5人
平均参加児童数	33人	1日当たりの平均スタッフ数	2人/教室

放課後子供教室・北部地区

小鹿野町・両神小さいいき教室				
活動場所	1年教室及び校庭・体育館	参加者数	登録児童数	9人
参加対象	1年生全児童		1日平均参加者数	9人
連携団体	秩父地区厚生保護女性会両神支部小鹿野町民生児童委員会			
プログラム例	紙コップけん玉、傘袋おぼけ、ストロー竹とんぼ、牛乳パックフリスビー等			
特徴的な活動内容と成果	<p>○月曜日の第6校時を「いきいき教室」で過ごし、6校時を終えた他学年の児童と一緒に集団下校を行っているため、1年生が安全に下校することができた。</p> <p>○ボランティアの方々の創意工夫に富んだ活動が行われたことで、児童全員が楽しく活動することができた。</p> <p>○身近なものを使って遊び道具を考えたり、遊びから新たな遊びを考えたりするなど、豊かな発想を養うことができた。</p> <p>○継続して手話に取り組んだことで、たくさんの表現を覚えることができた。手話への関心を高めることができた。</p> <p>○1時間の中で①読み聞かせ②手話③工作の流れが定着し、児童はそれぞれの活動を毎回楽しみにしていた。</p> <p>○児童とボランティアが交流することで、幅広く大人と関わる機会となった。</p>			



〔ストロー鉄棒〕



〔魚つり〕

小鹿野町基本情報			
運営委員会名	放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計61名)	各教室コーディネーター(4名) 主任児童委員(3名) 民生児童委員(28名) 地域住民(16名) 老人クラブ会長(1名) 歌舞伎保存会(1名) 更生保護女性会(8名)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の取組内容について ・放課後子供教室予算について ・次年度の活動予定について 		
放課後子供教室 実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 一体型 2教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 4箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	30日
主な対象学年	1学年	コーディネーター数	4人
登録児童数	54人	ボランティア数	62人
平均参加児童数	54人	1日当たりの平均スタッフ数	11人/教室

放課後子供教室・北部地区

上里町・長幡のびっ子教室				
活動場所	長幡小学校	参加者数	登録児童数	16人
参加対象	小学校1年生～3年生		1日平均参加者数	15人
連携団体				
プログラム例	宿題・読書・工作・体育館遊び 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>上里町放課後子供教室（長幡小学校のびっこ教室）は、放課後の空き教室等を利用し、週2日間、子供達が放課後に、異年齢の仲間と安全かつ安心して学習や体験活動、様々な遊び等を通して、異年齢交流を図れる居場所づくりを実施している。</p> <p>令和3年度は感染症の影響もあり、活動日数、参加者、企画物の減少はあったが、対策を講じながら実施することができた。</p> <p>ボランティアには地域の方や、退職教員にご協力いただいで開催している。時期に応じて、工作等さまざまな事業をサポートが提案してくださり、通年を通して子供たちは飽きずに楽しんでいる。毎回前半に学習タイムを30分間設けることにより、のびっ子教室にて宿題を終わらせる子が多くおり、保護者からも家で宿題をさせる必要がないので助かっているという声が上がっている。</p> <p>子供たちにとっては異年齢の子たちと遊べる数少ない機会となり、サポーターにとっても地域の子供と触れ合える機会となり、双方にとって良い効果が出ている。</p>			

上里町基本情報			
運営委員会名	上里町放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計20名)	実施校校長5名、公民館代表1名、PTA1名、子ども会育成会1名、スポーツ少年団1名、ボランティア団体1名、関係課室長4名、実施校コーディネーター4名、学識経験者2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子供教室年間事業計画検討 事業成果検証 		
放課後子供教室実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 5箇所		
対象学校区	5校	平均開催日数	30日
主な対象学年	1年～3年	コーディネーター数	10人
登録児童数	200人	ボランティア数	37人
平均参加児童数	180人	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室



〔体育館遊び1〕



〔体育館遊び2〕

放課後子供教室・北部地区

寄居町 より・E放課後塾				
活動場所	男衾小学校	参加者数	登録児童数	55人
参加対象	小学2年生		1日平均参加者数	50人
連携団体	学習支援サポーター			
プログラム例	算数を中心とした補充学習			
特徴的な活動内容と成果	<p>○5時間授業の日の6校時に「より・E放課後塾」を実施したことで、2年生の全児童が参加できた。1年間通して算数を中心に指導したことで、学習内容の補充学習ができ、復習する時間を確保できた。</p> <p>○少人数指導を行ったことで、「わかった、できるようになった」という声が児童から聞かれた。</p> <p>○各学校に配属されている学習支援サポーター（教員経験者や教員免許状保有者）が放課後学習サポーターとして指導したことにより、学習内容を学級担任と相談し、児童の理解度を把握した上で指導することができ、授業との接続が図れた。</p> <p>○学習内容の定着と学習意欲の向上をめざし、各学年に複数の指導者を配置して個に応じたきめ細かい指導を行った。個々の理解度に応じて補充的または発展的な学習を行うことができた。</p> <p>○県が作成した「コバトン問題集」なども活用し、練習問題に数多く取り組ませることで、基礎基本の定着が図れた。</p>			

寄居町基本情報			
運営委員会名	「より・E放課後塾」運営委員会		
構成役職 (合計 8名)	各教室コーディネーター6名、教育委員会担当者2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・プログラムの企画 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 4教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 6箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	22日
主な対象学年	2学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	195人	ボランティア数	19人
平均参加児童数	185人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室



〔算数の補充学習〕



〔個に応じた支援〕

放課後子供教室・東部地区

行田市・太田西小学校わくわくクラブ				
活動場所	会議室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	28人
参加対象	1～3年生		1日平均参加者数	28人
連携団体	学校応援団			
プログラム例	昔遊び、ボッチャ、県芸術文化ふれあい事業（創作ダンス）等			
特徴的な活動内容と成果	<p>太田西小学校わくわくクラブは、学校応援団で活動する方々にコーディネーターおよびスタッフを依頼し、令和元年度から実施している。今年度も引き続き、検温、マスクの着用、手指の消毒などの感染症対策を行いながら活動している。</p> <p>主な内容は、「昔遊び（水鉄砲、けん玉、ゴム車、たこを作って遊ぶ、ぎょうだ郷土かるたで遊ぶ）」や、東京パラリンピックの競技種目でもある「ボッチャ」、埼玉県芸術文化ふれあい事業を活用した出前講座「創作ダンス」等である。</p> <p>参加児童は、地域の方々に見守られながら、昔遊びやスポーツなどを大いに楽しんでいた。</p>			



〔自分で作ったたこをあげる〕



〔県ふれあい事業で創作ダンス〕

行田市基本情報			
運営委員会名	行田市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計18名)	各教室コーディネーター11名、小学校長2名、PTA代表1名、社会教育関係者2名、自治会長1名、生涯学習スポーツ課長1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室の運営状況 ・活動内容についての情報共有 ・安全管理、課題解決のための協議 等 		
放課後子供教室 実施数	10教室 児童クラブとの連携情報 一体型 8教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 19箇所		
対象学校区	10校	平均開催日数	14日
主な対象学年	1～3学年	コーディネーター数	11人
登録児童数	408人	ボランティア数	110人
平均参加児童数	279人	1日当たりの平均スタッフ数	8人/教室

放課後子供教室・東部地区

春日部市・桜川小学校放課後子ども教室 「桜っ子アフタースクール」				
活動場所	体育館・特別教室	参加者数	登録児童数	141人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	35人
連携団体	PTA、保護者ボランティア			
プログラム例	科学教室・郷土かるた教室			
特徴的な活動内容と成果	<p>昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できなかったが、今年度は、同じ内容の教室を複数日程で実施することや会場を分けて2つの教室を同時に実施することで参加児童を分散させて密を回避する工夫を行い、マスク着用と手指消毒を徹底するなど新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施した。</p> <p>本教室では、科学に見識のある地元在住者を講師に招き、学校の授業では扱わない実験や工作を行った科学教室や、教育委員会事務局職員が講師となり、絵札を拡大した郷土かるたを体育館に並べて楽しむ郷土かるた教室など特色ある教室を開催することができた。</p> <p>教室に参加した児童からは、「楽しかった」「とても勉強になった」などの好評を得ているだけでなく、上級生が難しい工作を下級生に丁寧に教えている姿も見受けられ、制限された中ではあるが、異学年交流の貴重な機会となった。</p>			

春日部市基本情報			
運営委員会名	春日部市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計12名)	小学校長会代表、社会教育委員、自治会連合会代表、青少年育成春日部市民会議代表、生涯学習市民推進員、市PTA連合会代表、放課後子ども教室代表2名、共栄大学客員准教授、保育課主幹、指導課長、中央公民館長		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度春日部市放課後子ども教室の運営 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた留意事項 		
放課後子供教室実施数	8教室 児童クラブとの連携情報 一体型 8教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 23箇所		
対象学校区	23校	平均開催日数	3日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	25人
登録児童数	664人	ボランティア数	登録制ではない
平均参加児童数	235人	1日当たりの平均スタッフ数	11人/教室



〔科学教室〕



〔郷土かるた教室〕

放課後子供教室・東部地区

羽生市・井泉小学校放課後子ども教室				
活動場所	教室、体育館	参加者数	登録児童数	15人
参加対象	4学年から6学年		1日平均参加者数	13人
連携団体				
プログラム例	宿題、自主学習、バドミントン、ドッジボール、工作、等			
特徴的な活動内容と成果	<p>今年度は、活動日数・募集人数を例年より削減しての開催となり、運営スタッフや参加児童への検温、教室内の消毒等新型コロナウイルス感染症対策を行いながら活動している。</p> <p>前半に学習の時間として、学習指導・自主学習を行い、後半にスポーツ活動として、バドミントン・ドッジボール・竹取り等を体育館や校庭で活動している。また、年に数回、特別活動として外部より講師を招き、普段の学校生活とは一味違った体験プログラムを提供している。今年度はレジン液を使用したキーホルダー作りや英会話教室を実施。「来年も実施してほしい。」と声上がるほど参加児童から好評を得ることができた。</p> <p>また、保護者からは、児童に対して真摯に向き合ってくれること、家庭内でも話題に上がることから、運営スタッフへの信頼が厚い。</p>			



〔キーホルダー作り〕



〔英会話教室〕

羽生市基本情報			
運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計44名)	実施校区の学校代表者6名、放課後児童クラブ関係者5名、実施校区住民の代表者6名、PTAの代表者6名、社会教育関係者6名、児童福祉の代表者3名、教育長推薦12名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の活動報告 ・来年度の募集について ・来年度の活動内容について 		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 4教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 10箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	18日
主な対象学年	4学年から 6学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	76人	ボランティア数	32人
平均参加児童数	6.5人	1日当たりの 平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・東部地区

久喜市・桜田ゆうゆうプラザ				
活動場所	特別教室、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	346人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	160人
連携団体	学校応援団			
プログラム例	ボールでゲーム、元気に外あそび、ミニテニス、バドミントン、リズム体操、ヒップホップダンス、陶芸、楽しい工作、図書室ひろば、コマ名人になろう、レッツ☆和太鼓、めざせ！けん玉名人、墨あそび、室内あそび、楽しい折り紙・スイーツデコ、百人一首かるた、さく☆らだ音楽隊、体であそぼう、英語でつながろう、楽しい将棋、絵画、子ども講座サポーター、子ども実施委員			
特徴的な活動内容と成果	<p>12年目を迎えた令和3年度は、コロナ禍での実施のため、講座の種類や人数、回数等の制約を設けての実施となったが、令和2年度よりも多くの児童が参加した（参加率40.2%）。</p> <p>「さく☆らだ探検隊」では、世界のいろいろな国の楽器に触れ、即興演奏でセッションを楽しんだ。日本文化としてよく知られている百人一首をかるた遊びとして楽しむ「百人一首かるた」では、力の差が出ないようにチーム分けをして、源平戦で試合を行った。</p> <p>桜田ゆうゆうプラザでは1年生は、原則、保護者のお迎え、2～6年生は地区別下校を実施している。特に2年生については、下校時に一人にならないよう、集合場所に講座の有無・参加児童の名簿を表示したり、地区ごとに実施委員を配置するなどして、見守りを強化している。</p>			



〔レッツ☆和太鼓〕



〔陶芸〕

久喜市基本情報			
運営委員会名	久喜市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計39名)	社会教育委員1名、市内校長会1名、スポーツ推進委員1名、学童保育運営協議会1名、スポーツ少年団1名、子ども会育成連合会1名、民生委員・児童員協議会1名、レクリエーション協会1名、PTA連合会1名、婦人会連合会1名、青年会議所1名、生涯学習推進者4名、各教室実施委員長22名、生涯学習課長、行政関係者2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・新型コロナウイルス感染症対策 ・夏季運営対策 ・けがの予防 ・保険 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室実施数	19教室 児童クラブとの連携情報 一体型 16教室 連携型 3教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 22箇所		
対象学校区	22校	平均開催日数	12日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	25人
登録児童数	2243人	ボランティア数	1944人
平均参加児童数	2145人	1日当たりの平均スタッフ数	41人/教室

放課後子供教室・東部地区

放課後子供教室「ひらりんきっず」				
活動場所	蓮田平野小学校 校庭等	参加者数	登録児童数	15人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	15人
連携団体	ひらりんぱっ（平野小学校放課後子供教室スタッフ）			
プログラム例	モルック教室			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、蓮田平野小学校の子供たちの安心・安全な居場所づくりと様々な体験・交流を通して、自主性・協調性の育成を目指している。指導者やスタッフは、平野小学校卒業生の保護者等が中心となって実施している。</p> <p>緊急事態宣言や、近隣でまん延防止重点措置が発令されていた期間については、活動を休止していた。</p>			



〔モルック教室〕

蓮田市基本情報			
運営委員会名	蓮田市放課後子供教室推進事業運営委員会 (蓮田市社会教育委員会)		
構成役職 (合計 7名)	学校教育関係者（蓮田市小中学校長会）、社会教育関係者（蓮田市子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト蓮田第1団、蓮田市スポーツ推進委員連絡協議会）、家庭教育関係者（民生委員・児童委員、NPO子育て支援団体）、学識経験者（蓮田市議会議員）		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子供教室の活動内容について 社会教育事業について 		
放課後子供教室実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 2教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 8箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	7日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	91人	ボランティア数	8人
平均参加児童数	26人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・東部地区

吉川市・放課後子ども教室				
活動場所	三輪野江小学校 ふれあいホール・校庭・体育館	参加者数	登録児童数	45人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	41人
連携団体	なし			
プログラム例	プログラミング教室、かけっこ教室（未実施）			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに、「志を持った子どもたちを育てる」という理念の下、スポーツ、工作などの体験型学習、地域住民との交流活動、ICT機器を使用した学習などを、地域や学校などと連携を図りながら次世代を担う子どもの健全育成を支援することを目的としている。</p> <p>また、様々なプログラムを通して体験するだけでなく、教室開始時の10～15分時間を設け、その時間を児童自ら宿題に取り組むように支援し、自主性を育むようにも図っている。</p>			

吉川市基本情報			
運営委員会名	吉川市放課後子ども教室事業運営委員会		
構成役職（合計 7名）	学童保育室関係者（1名）、放課後子ども教室関係者（1名）、社会教育関係者（1名） 三輪野江小学校教頭（1名）、教育委員会職員（2名）、保育幼稚園課（1名）		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の活動内容について（実施プログラムの説明） ・新型コロナウイルス感染症対策について ・安全確保、保護者迎えの場所の確認について 		
放課後子供教室実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 8箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	16日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	45人	ボランティア数	4人
平均参加児童数	41人	1日当たりの平均スタッフ数	7人/教室



〔プログラミング教室〕



〔ドッジボール〕

放課後子供教室・東部地区

白岡市・菁莪小学校放課後子ども教室

活動場所	多目的室、体育館 特別教室	参加者数	登録児童数	36人
参加対象	全学年		1日平均 参加者数	34人
連携団体	「町ぐるみん白岡」、スポーツ推進委員、菁莪小学校PTA			
プログラム例	理科実験、名札・看板作り、レクリエーション大会、ボッチャ、プログラミング、漢字魚釣り大会、ドッジボール大会、クイズ大会等			
特徴的な活動 内容と成果	<p>月に1回程度、地域住民等で組織した実行委員会を開催し、プログラム内容の企画等を実施している。今年度実施したプログラムは、様々な体験活動ができるよう実施方法を工夫したことで、子供たちから好評であった。特に理科実験は、民間企業に協力をいただき、体験活動を通して学習する機会を子供たちに提供することができた。</p> <p>また、学童保育所とは、定期的に情報交換を行っており、学童保育所から放課後子ども教室に参加する児童の受け入れや引渡しを円滑に実施することができている。</p> <p>放課後子ども教室のスタッフからは、「子供たちの楽しそうな様子を見て、こちらも嬉しくなり、やりがいを感じる。」といった声を聞くことができた。</p>			



【理科実験】



【名札・看板づくり】

白岡市基本情報

運営委員会名	白岡市放課後子ども教室運営会議（白岡市社会教育委員会議）		
構成役職 (合計15名)	学校教育関係者2名、社会教育関係者5名、家庭教育関係者4名、学識経験者2名、公募2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画及び活動プログラムに関すること ・安全管理方策、広報活動方策、人材確保方策に関すること ・事業実施後の検証及び評価等に関すること ・その他事業の運営に関し必要な事項に関すること 		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 11箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	8日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	36人	ボランティア数	33人
平均参加児童数	34人	1日当たりの 平均スタッフ数	8人/教室

放課後子供教室・東部地区

杉戸町・杉戸第二小学校わくわく教室				
活動場所	校内わくわく教室	参加者数	登録児童数	30人
参加対象	1～4年		1日平均参加者数	15人
連携団体				
プログラム例	ビーズアクセサリ作り、スライム作り、えんぴつ立て作り、クリスマスお楽しみ会 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は「わくわく教室」の愛称のもと実施している。子供たちの居場所を確保するとともに、地域間交流、異世代間交流の機会を与え、子供たちの安全・安心できる環境づくりを目指している。</p> <p>今年度、本教室では、新型コロナウイルスの影響から、参加者を30人に減らし、さらに1、3年生と2、4年生、15人ずつに分け、机の配置を工夫して、マジックなど、道具を使用する場合は、複数で使いまわさないようにして、感染症対策を十分に行って実施した。</p> <p>例年は、スポーツ・体験活動も実施していたが、感染症対策のため、工作が多いカリキュラムとなった。しかしながら、参加した児童は、毎回とても楽しそうだった。</p>			



〔ビーズアクセサリ作り〕



〔クリスマスお楽しみ会〕

杉戸町基本情報			
運営委員会名	杉戸町放課後子供総合プラン運営委員会		
構成役職 (合計15名)	学校関係者(学校長)3名、放課後子供教室代表6名、放課後児童クラブ関係者2名、地域住民1名、PTA関係者1名、行政関係者2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の前年度実施状況 ・本年度実施計画について ・放課後子供教室事業予算について ・放課後児童クラブの開設状況について 		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 2教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 9箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	11日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	4人
登録児童数	40人	ボランティア数	11人
平均参加児童数	25人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・東部地区

松伏町・松伏小学校放課後子ども教室				
活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	25人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	21人
連携団体	よさこいソーランおどる遊、スナッグゴルフ団体			
プログラム例	宿題、昔遊び、よさこいソーラン、スナッグゴルフ、ペットボトル風車、木工教室、バケツ稲栽培、英語活動 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>・放課後の児童の安心・安全な活動の場作りと、地域の方々との交流を通じて子どもたちに多様な力をつけることを目指し、課業日の月・木に活動している。</p> <p>・放課後児童クラブ（学童クラブ）との一体化を図る共通プログラムとして毎回のドッジビーやよさこいソーラン、スナッグゴルフを行っている。両教室の児童たちは仲良く活動している。</p> <p>・学童クラブには放課後子ども教室の活動予定表を届け、学童クラブ担当者が参加する児童を引率してきている。</p> <p>・今年度は8月7日によさこいソーランの発表会を町内運動公園広場で開催した。このイベントも学童クラブと一体化して行った。また、放課後子ども教室の指導員が、ペットボトル風車作りを指導した。12月にはたき火イベントを行い、たき火に木をくべたり火の管理を体験させた。副産物の焼芋を子どもにプレゼントした。</p> <p>・これらの活動に積極的に取り組む子どもの生き生きとした表情や笑顔が、一番の成果である。</p>			



〔スナッグゴルフの一コマ〕



〔ペットボトル風車 完成〕

松伏町基本情報			
運営委員会名	金杉小学校放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 9名)	コーディネーター	2名	
	指導員	2名	
	学校応援団	1名	
	学童クラブ本部長	1名	
	P T A会長	1名	
	校長	1名	
	教育文化振興課長	1名	
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業実施状況の確認、評価 ・教室運営上の課題、協議 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室 実施数	1教室	児童クラブとの連携情報	
	児童クラブとの連携情報	一体型 1教室	
		連携型 0教室	
	参考：放課後児童クラブ箇所数 7箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	62日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	25人	ボランティア数	20人
平均参加児童数	21人	1日当たりの平均スタッフ数	8人/教室